



SDGsは遠い存在ではなく、私たち自身の生き方の指針、拠り所 現在、そして未来を豊かに生きるための教えが詰まった一冊

●私はエコアナウンサー ～SDGsをジブンゴトに～



櫻田彩子
本の泉社
1,320円(税込)

『りらく』2023年9月号

エコアナウンサーとは耳慣れない言葉だが、エコロジ（環境）とエコノミー（経済）の統合によって持続可能な社会をめざすという価値観を持つアナウンサーのことだ。2022年に商標登録し、
®マークが付く。

そんなエコアナウンサーが綴る本書は、自らの人生の歩みから始まる。剣道で精神力を培った子ども時代、仙台でフリーアナウンサーとして活躍しながら大学院で学んだ日々、結婚を機に移り住んだ東京での奮闘の様子、そして40歳での出産。歩んできた道程に人と人とのつながりや支え合う姿、感謝の思いがうかがえ、自然体で語られる言葉の数々にうんうんとうなずかされる場面も多々あった。

本書から受け取るべきメッセージは、「SDGsをジブンゴトに」であろう。言葉や言わんとすることは何となくは知っていても、自分が生きる毎日のなかで意識し生活に関連づけることは難しい。だ

がこの本を読んでもみると、筆者の体験や具体的な情報の提示を通して、日本の現状や現在どんな取り組みが行われているのか、自分にはどんなことができるのかなどが明確になってくる。自分自身の今と未来のために、この先を生きる子どもたちのために、気負うことなく、SDGsをジブンゴトとして実践していこうと思った。

「編集部」